



運動会を成功に導くもの ～役割を精一杯果たす～

ここ数年は、5月のこの時期はかなり蒸し暑く、熱中症についての心配が賣っ先にあげられましたが、今年はまさに薫風といった爽やかな風の中での運動会となりそうで、週間天気予報でも天気の心配がないようです。しかし、このところ急激に気温が上がっているため、暑さに体が慣れていない子どもも多く、しっかり水分をとるなどの熱中症対策は必須のようです。また、朝夕の寒暖の差が大きいので、運動会直前に風邪をひかないよう、体温調節についてもお声掛けをお願いします。



さて、先日は2名の応援団長を中心に、「真剣いっぱい」な姿を御紹介しましたが、今回は華やかな応援団長をしっかりと支える応援団員と開閉会式の係についてご紹介します。まず感心させられたのは、紅白それぞれの旗係の工夫です。リズムに合わせて旗を振るだけでなく、応援の場面によって、タイミングを図って旗の向きを変えて応援団の動きとのマッチングを意識しています。選んだ役割を果たすだけでなく、「よりよいものに！」と自ら工夫を凝らすことは、きっとこれからの学校生活にも生かされることなのでしょう。太鼓係も打ち方やリズム感がばっちり、全校の子どもたちが動きやすいように、メリハリをつけて合図を送ってくれています。また、国旗掲揚・降納の係も今年は何度も練習を繰り返し、待機しているときの態度や音楽に合わせてタイミングよく旗を上げ下ろしができるようになっています。その立派な態度は見ている人にもピリッとした気持ちの良い緊張



を与えてくれると思います。自分たちが工夫したり、意図した配慮が全体の役に立つという経験は、行事でしか得られない貴重なものです。ここ2年のコロナ禍で「集まる」行事が延期、または中止になってきましたが、今回予定どおりできるチャンスをしっかり生かしていきたいと思います。本校の職員もこの運動会を成功に導くために、永田体育主任を先頭に早朝からライン引きなどの準備を行ったり、微に入り細に入り繰り返し指導を行ったりと頑張ってくれています。野副庁務員は除草や清作掃業をしっかりと行って、お客様を迎える準備をしてくれています。たくさんの想いが集まって、きっとよい運動会ができると確信しています！

三原に吹く風

先日、新しくおやじの会の会長に就任された本田英充さんのお父様が、ご挨拶に見えられました。おやじの会には、毎年、運動会当日早朝から会員のお父様方に声掛けしていただき、テントの設営などのお手伝いをしていただいています。小規模校の三原小では、職員の数も多くはありませんので、テント設営など、子どもたちだけではできない危険を伴う作業などでは、大人の手があると大変助かります。今年もよろしく願いいたします。

また、昨日、第1回の育成協地区委員会が19時から育友会室でありました。今年度から松本会長から三宅会長にバトンタッチされ、ご挨拶がありました。松本会長が創られた伝統を継承しつつ、新しい風が三原に吹くことも期待しています。

宮原のつぶやき

昨日、育成協の会議が終わって、家に帰り、大好きなカレーを食べながら、ぼーっとテレビを見ていたら、「マツコの知らない世界」という番組がありました。そこで、松浦がアジフライの聖地と呼ばれていることを初めて知りました(^-^； それとは別に、男性のフラダンスが人気という話題がありました。定年間近の男性が仕事以外の世界にどっぷりとはまっているという話題でしたが、妻から「あなたもやってみれば！長崎支部を作らんね！」と言われたものの、できればそういう世界は自分の意志で選びたいものだと思っただけでした（笑）